

青年部 だより

「ふるさと発見伝」 (地域活性化事業)を実施

去る11月4日、「だるま祭」の期間中、東舞鶴八島五条角スクウェア八島1階空き店舗で、青年部メンバーが中心となり、商工会議所会員及び地元商店街や諸団体と交流を深め地域経済の活性化を図るため、

「ふるさと発見伝」(地域活性化事業)を行いました。

内容は、空き店舗内に17ブース(出展者数:15店舗)により、地元舞鶴の特



約80名が参加し、34mの鉄火巻が完成
(八島商店街 五条～六条)

産品(水、赤玉子、水産物加工品、米、酒、カレー、野菜等)を展示即売。店舗前では、青年部のメンバー等による屋台(海鮮、カレー、飲料水等)と福引、肉じゃがが実行委員会による屋台(肉じゃが)、舞鶴市東消防署・舞鶴市東消防団による煙避難体験、消防車展示を実施。またステージにおいては、地域産品のオークションを行いました。

目玉イベントとして、八島アケード内の五、六条間を利用し市民参加による約34メートルの鉄火巻寿司づくり大会を開催し、たくさんのお客に喜ばれました。

～お知らせ～

青年部に対し、平成19年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金が決定しました。

交付決定額 826,000円

内訳: 京都府 413,000円、

(財) 京都府市町村振興協会 413,000円

この交付金については、地域社会の健全な発展を図る為に、若者が定住できるように出会いの場を提供するための事業に利用します。

(事業実施日: 平成20年2月24日開催予定)

女性会 だより

赤煉瓦群についての講演をお聞きして

今年は季節感のない日が続き、9月例会は20日と云う日なのに気温35.3度の真夏日でした。

今回はまいづる智恵蔵を例会会場に致しまして『赤煉瓦を活かしたまちづくり』と題してNPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴の理事長・馬場英男氏の講演をお聞きし其の後、智恵蔵や周辺の赤レンガ群を見学、そして説明をして頂きました。

赤レンガ群について、何となくわかっていた様なものの、目で見てくわしく知りたい等の関心をお持ちの方が多く過半数以上の出席で、程よい涼しさの中で赤レンガ群について勉強させて頂きました。

舞鶴市では、
明治・大正・昭



「赤煉瓦を活かしたまちづくり」についての講演を熱心に聞く参加者

和初期に建てられた赤煉瓦建造物が、昭和63年からの地道な調査研究により131も確認されています。国の威信をかけた建造なので堅牢で保存状態も良く、

博物館・記念館・智恵蔵に改修され、芸術文化の交流の場として舞鶴のシンボルとなり、嬉しい事です。

アンケートによると街の色は「灰色」…これを「赤レンガ色」に変えてゆきたいとおっしゃっていました。私達一番気にしている経済効果につながるのではないのでしょうか。

暑い中、大変いい勉強の一日でした。

(記 例会担当委員長 上野 正子)



ビデオを見ながら煉瓦建造物の説明を受ける